

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15028

まちづくり支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	2	各地域における魅力的なまちづくり
施策	1	各地域における魅力的なまちづくり
取組方針	2	地域まちづくり活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	都市再生課	三宅 尊弘 435-1048
事業実施の根拠法令	都市計画法全般		関連課	道路政策課、文化振興課、観光課、公園緑地課、農林水産課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	便利で魅力的なまちづくりを進めるため、地域住民が主体となって行うまちづくりに関する支援を行うとともに、歴史・文化、自然をはじめとする地域特性を生かした個性的なまちづくりを推進する。		<ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり支援に関する事務 ・砂山、今福地区のまちづくり支援に関する事務 ・和歌の浦まちづくり支援に関する事務 ・四箇郷地区まちづくり支援に関する事務 ・歴史的風致維持向上計画に関する事務 ・都市再生推進法人に関する事務 			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくり支援 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり支援 ・四箇郷地区まちづくり支援 ・歴史的風致維持向上計画 ・都市再生推進法人 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくり支援 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり支援 ・四箇郷地区まちづくり支援 ・歴史的風致維持向上計画 ・都市再生推進法人 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくり支援 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり支援 ・四箇郷地区まちづくり支援 ・歴史的風致維持向上計画 ・都市再生推進法人 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくり支援 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり支援 ・四箇郷地区まちづくり支援 ・歴史的風致維持向上計画 ・都市再生推進法人 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくり支援 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり支援 ・四箇郷地区まちづくり支援 ・歴史的風致維持向上計画 ・都市再生推進法人

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	23,788	24,298	115,646	121,503	10,401	10,401	10,401	0	10,401	0
伸び率(%)	17.8%	41.5%	386.2%	400.1%	△91%	△91.4%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	38,418	37,532	37,103	38,138	36,148	37,389	37,389	0	37,389
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	38,418	37,532	37,103	38,138	36,148	37,389	37,389	0	37,389
国庫支出金	11,612	14,237	52,224	91,603	5,131	5,131	5,131	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	1,200	900	51,800	27,100	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	10,976	9,161	11,622	2,800	5,270	5,270	5,270	0	10,401	0
所要人数(人)	正規職員	4.77	4.66	4.66	4.79	4.66	4.82	4.82	0.00	4.82
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料7,562千円、補助金2,700千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
まちづくりWS開催回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	0	1		
			達成度(%)	100%	0%	%	%	%
地域のまちづくり組織等の設立数(累計)		団体	目標値					
			実績値	3	3	3		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
「地域住民のふれあい活動」に対する市民満足度		%	目標値	14.9	15.6	16.3	17.0	
			実績値	9.1	10.3	7.8		
			達成度(%)	61.1%	%	%	%	%
			目標値					
成果指標			実績値					
			達成度(%)					
			目標値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>今までの行政主導のまちづくりでは、今般の社会情勢や財政の面からも限界があると考えられ、今後は住民主体による地域特性を生かした個性的で魅力的なまちづくりの重要性が増してくると思われる。また、住民主導のまちづくりに転換していくことにより、住民満足度の高い効果的・効率的なまちづくりが可能となると考えられ、その支援のあり方や取組に関する仕組みづくりを構築していく必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>先進市の事例や各種既存制度等の研究及び本市の地域まちづくりに関する状況を整理し、将来に向けた「まちづくり支援」のあり方を検討するとともに、砂山・今福地区での取組状況等を参考にして、地域まちづくりの活性化を促す制度や支援する制度の構築等を検討する。また、歴史・文化、自然をはじめとする地域特性を生かした個性的なまちづくりを推進する。</p>